

## 平成 29 年度 事業計画

### 基本方針

我が国の経済は、政府や日銀の各種政策により雇用環境や所得に改善が見られる中緩やかな回復が続いています。しかしながら、地域の中小企業、小規模事業者においては実感するまでには至らず、不透明感の増す世界情勢の中で人口減少、少子高齢社会の進展から今後も厳しい状態が続くのではないかと考えます。

このような中、各地域においては商工会議所を中心に、地方創生を目指しつつ、各地域の資源や特徴を生かして、地域企業の経営支援、観光の振興、市街地の再生等に日々尽力していただいています。商工会議所の活動なくして地方創生や地域の発展はないものと、引き続き地域経済、社会の活性化に注力して行かなければならないと考えています。三重県商工会議所連合会においても、県内 12 商工会議所と連携、協調して、それぞれの商工会議所で展開する活動に協力していきたいと考えています。

三重県商工会議所連合会においては、これまで行政庁、諸団体、大学研究機関等との橋渡し役を務め、県内会議所との情報の共有化を図ること、各会議所の要望等を取りまとめ各団体等に伝えること、逆にそこからの情報を収集し、各会議所へ伝達するといった活動に取組み、県内 12 商工会議所が互いに助け合いながら、結果として地域や各会議所の会員企業が元気になることを目指してきました。こうした活動を引き続き積極的に進めるとともに、様々な関係先との連携を強化し、しっかりと取組んでまいります。関係機関と商工会議所の連帯感を深め、互いの取組みが一層効果を上げられるよう支え合って行きたいと考えています。

また、県連が参画している各種団体、組織との繋がりも強め、交流人口の増加による地域の活性化を目指しイベント、スポーツ大会といった催事等に協力して取組みたいと考えています。県をはじめ市町を売り込むチャンスを生かし地方創生の一助となるよう努力します。さらに、県内各会議所同士の協働も推し進め、事業効果を最大化していきたいと考えています。

例えば、多くの会議所が観光振興を課題にあげていますが、伊勢志摩サミッ

トの効果がこれからも長期間にわたり、又広範囲に及ぶように一致して関連活動に取り組むことが考えられます。G7の首脳から称賛された自然、景観、文化、食やおもてなし等を会議所が一体になって訴え続け、一過性で終わらせることのないよう反復連打の情報発信を行う等全会議所が団結していくことが重要です。また、各会議所が主催、協賛するイベントへ他の会議所も参画し、成果を県下一円に広げられるよう結束していきたいと思います。

県内12商工会議所が『助け合い、支え合い、盛り上げ合う』ことをモットーに「情報の共有と連携、協働」していくことを県連の運営方針として活動してまいります。

## 三重県商工会議所連合会活動方針

県連活動の基本方針は、県内全商工会議所が「情報の共有と連携、協働」を図り、連合会の存在感をさらに高めていくこととし、以下の事項を具体的に進めていくこととします

### 1. 行政庁、諸団体、大学研究機関等との橋渡し

- ・県内各商工会議所と国・県・広域等の行政庁、諸団体、大学研究機関等との橋渡し役となり、情報の共有化を図ります。
- ・各商工会議所の課題や要望を取りまとめ、関係機関や各団体に伝えること、逆に、関係機関や各団体から情報を収集し、各商工会議所へ伝達するといったパイプライン活動に積極的に取組み、結果として地域や各商工会議所の会員企業が元気になることを目指します。

### 2. 関係先との連携の強化

- ・各種団体、組織等が主催するイベント、スポーツ大会等の催事並びに今後開催予定の菓子博覧会、インターハイ、三重国体等に連携して取組み、最大限の効果が上がるよう支援・協力します。
- ・交流人口の増加による地域の活性化を応援するとともに、三重県をはじめ市町を売り込むチャンスを生かし、地方創生の一助となるよう努力します。

### 3. 県内各商工会議所との協働

- ・各商工会議所が主催や協賛するイベント等、地域や全県で開催する催事に、他の商工会議所も積極的に参加するよう促すとともに成果が県下一円に拡大されるよう協力します。

### 4. 県連事務局の効果的活用

- ・県内各商工会議所が実施する調査、研修、会合、催事等については、県内各商工会議所と連携しながら県連事務局が中心となり実施していきます。

## 三重県商工会議所連合会平成 29 年度事業計画

三重県商工会議所連合会の活動基本方針を具体化するための事業として、下記の事項を計画します

### 1. 行政庁、諸団体、大学研究機関等との橋渡し

#### (1) 広域経済連携の推進

##### ①広域的ビックプロジェクトの推進

- ・リニア中央新幹線東京・大阪全線早期開業及び県内停車駅（亀山市付近）設置促進のための他の経済団体との連携活動の推進
- ・三重県内高速交通体系におけるミッシングリンクの解消取組の促進

##### ②総合交通体系の整備

- ・県内主要鉄道の高度化及び利便性の向上
- ・県内幹線道路網の整備促進とネットワーク化
- ・県内主要港湾の整備充実と関連施設の整備促進

##### ③広域的産業政策の推進

- ・今後の成長が見込まれる産業の推進のための政策連携
- ・広域的な観光産業等の推進のための政策連携
- ・環境、エネルギー等に配慮した新産業の創造と推進のための政策連携
- ・関連産業経済組織団体との広域政策推進のための参画連携

#### (2) 政策・予算要望活動の展開

##### ①政党への要望活動

##### ②三重県当局への要望活動

##### ③ビッグプロジェクト推進要望活動

### 2. 関係先との連携の強化

#### (1) 県内中小企業の振興のための支援等

##### ①各商工会議所事業への支援

- ・珠算等会議所事業への支援
- ・就活等複数会議所事業への支援
- ・情報提供活動への支援

##### ②関連組織団体への参画と提言

- ・三重県産業支援センター、三重県信用保証協会等への参画
- ・中小企業振興に係る関係団体組織等への参画

③雇用労働問題への関わりの推進

・県内中小企業の雇用推進、労働問題改善に係る組織団体への参画と連携の推進

(2) 地域資源を活用した地域づくり・まちづくりの支援

①各商工会議所が主催する地域づくり・まちづくりに関する各種会合・行事への支援

②行政機関が行う地域づくり・まちづくりに関する各種会合・行事への支援

③他の組織団体が行う地域づくり・まちづくりに関する各種会合・行事への支援

3. 県内各商工会議所との協働

(1) 各商工会議所と連携した政策・予算要望の把握

・要望活動を展開するための課題聴取並びに現地実情把握

(2) 各商工会議所間調整の展開

①関係機関の取組み情報や要請事項を収集し、各商工会議所が様々な取組みに参画できるような伝達・調整

②各商工会議所からの要望や課題を収集し、各商工会議所と調整した上での、関係機関への要望・発信

(3) 情報発信、発言、提言、要望活動のために、三重県商工業界の現状や位置づけを把握することを目的に各商工会議所と連携した景況調査等の調査や関連の政策研究

①景況調査を中心とした三重県内商工業実態の把握調査と諸調査内容の発信

②諸会合への参画、提言に係る先進情報収集等関連の調査

③国・県・広域等が進める政策の実態を情報収集するための調査、研究

4. 県連事務局の効果的活用

・県連活動を進めるために必要な総会、会頭会議、専務理事会議、職員研修等の会合等の行事を企画、運営します

①県連が規定する諸会合の開催

②各商工会議所職員間の情報共有となる研修の開催

③県連事務局の合理的、効率的運営

## 平成 29 年度予算化の具体的な事業計画

以上のような基本方針と事業計画に基づき、平成 29 年度において予算化の必要な事業の計画は下記の通りとします。

### 1. 広域経済連携事業

本事業は、リニア中央新幹線建設促進、中部広域観光推進、中部圏社会経済・活性化連携等、広域圏を対象とした経済連携・経済団体連携活動に係る事業予算  
広域会議、広域団体への参加費、加入費、そのための調査費、旅費

### 2. 中小企業振興事業

本事業は、三重県内の経済状況の調査、企業振興のための要望活動、中小企業の労働対策等、県内中小企業の発展のための諸活動に係る事業予算  
景況調査、条例活用、予算要望活動、労働対策活動等に係る調査費、旅費

### 3. 商工技術振興事業

本事業は、珠算関係事業のための活動に係る事業予算  
競技会補助金、連合会補助金、担当者会議に係る補助金、旅費

### 4. 情報発信事業

本事業は、県連活動の情報発信諸活動に係る事業予算  
ホームページ更新料、三重テレビ等広報費、新聞等への掲載費、会員企業への緊急情報提供支援

### 5. 職員研修事業

本事業は、各商工会議所職員の資質向上、情報交換のための会合に係る事業予算  
講師謝礼、講師旅費、会場使用料、依頼旅費、依頼調査費等

### 6. 会議所連携活動支援事業

本事業は、複数の会議所が参加して行う事業活動への支援に係る事業予算  
就活支援やそれに係る調査費、旅費、複数会議所が連携して取組む事業への支援

## 7. 地域政策調査事業

本事業は、国・県に係る政策を勉強・調査・研究するための研究会開催や関係の調査のための予算。なお、研究会の開催や調査の実施については、会頭会議、総会、専務理事会、職員研修会等の県連主催の会合において兼ねて実施するものとします。

研究会開催のための講師謝礼、講師旅費、そのための依頼調査費、旅費